



日野太郎の How to エコドライブ!

With
**HINO
PROFIA**
Hybrid・COOL

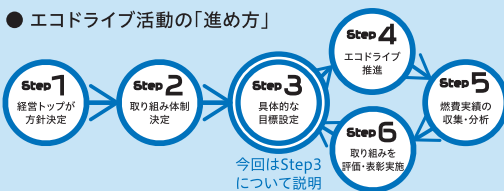
今回は、エコドライブに効く「発進・加速」「シフトアップ」のコツと日野プロフィアハイブリッドの特長を紹介します。



トラックの燃料消費量は自動車全体の「約87%」を占めており、地球資源保護や環境保全の観点から使用量節減への取り組みが課題になっています。そして、課題解消につながるエコドライブ活動の推進には「具体的な目標設定」が重要です。

● エコドライブ活動の「効果」：資源保護、安全確保、経費の節減

● エコドライブ活動の「進め方」



Step3

「取り組み可能な範囲」で
「具体的な節減目標」を設定

例えば「燃料消費量を対前年比10%節減する」といった、分かりやすい目標を設定することが活動推進に有効です。

出典：国土交通省「自動車燃料消費量調査(2019年度)」
公益社団法人 全日本トラック協会「エコドライブ推進マニュアル」

実践エコドライブ

「おだやかな発進・加速」のコツ

アクセルのベタ踏みはしない!

急発進・急加速は、必要以上にエンジンの高回転域を使うことになり、通常走行に比べて燃費が著しく悪化します。信号待ちの発進時など、アクセルを踏み込み過ぎずゆっくり加速しましょう。



アクセルの踏み込みは「ふんわり」と



シフトアップは「早めに」「グリーンゾーン内」を心がけましょう!

グリーンゾーン
メーター



出典：公益社団法人 全日本トラック協会「エコドライブ推進マニュアル」

「早めのシフトアップ」のコツ

エコドライブは一段上のギヤで!

低速ギヤのままですピードを上げていくと、エンジンの回転数が高くなり、その分燃費が悪化します。グリーンゾーン内で早めにシフトアップを行い、できるだけ高速段のギヤを使用して走行しましょう。

エコドライブを支える

**HINO
PROFIA**
Hybrid・COOL

スムーズなシフトワークを実現する、
ハイブリッド専用12段式オートランスミッション採用

日野プロフィアハイブリッドは、自動変速のショックを抑えて滑らかな加速を実現するために、オートランスミッション(12速AMT)とクラッチを、ハイブリッド専用に一斉。クラッチ断接・ギヤセレクトをエアで作動させ、シフトチェンジはハイブリッドモーターで回転合わせを行います。最適かつ間断のないシフトワークで、ドライバーのエコドライブを支えます。



※写真は合成です。

EV走行時はギヤ段数が点滅します

詳しくは [Q 日野プロフィアハイブリッド](#)